

武蔵野大学学術機関リポジトリ Musashino University Academic Institutional Repository

教職研究センター紀要第4号：表紙, 目次, 執筆要項, 奥付

雑誌名	武蔵野大学教職研究センター紀要
号	4
発行年	2016-03-01
URL	http://id.nii.ac.jp/1419/00000180/

武蔵野大学 教職研究センター紀要

第 4 号

目 次

新卒保育者の職業性ストレスと在学中の教育的支援 —就職3ヶ月後に焦点を当てて—	義 永 睦 子	1
教員養成課程における沖縄三線の指導に関する研究 —沖縄三線の体験学習の意義と可能性—	高 橋 一 行	13
フレーベルの『人間の教育』の「全体の基礎づけ」と リトミックに関する研究	高 牧 恵 里	25
自己生成の場としての図画工作 —「見ること」の深化と世界との出会い—	生 井 亮 司	37
身体表現の授業におけるティーム・ティーチングの導入 —授業者が複数いることの効果検討—	川 上 暁 子・加 藤 未 来	47
大学教職課程における教科教育法に関する実証的研究 —初等算数科指導法における授業研究（模擬授業を含む）の方法と検証—	上 岡 学	59
「協働的な学び」に関する国語科授業事例の研究	齋 藤 裕 吉	71
地域社会と連携した理科教育関連プログラムの策定	庭 野 正 和	83
小学校理科・生活科における問題解決能力の育成 —授業研究の要点と成果—	叶 雅 之	95
高校に派遣した大学生教育インターンシップの実践報告	大 室 文 之	103

鄭道昭・論経書詩考 —旧拓整本による不明字解明の試み—	廣 瀬 裕 之	130
--------------------------------	---------	-----

武蔵野大学教職研究センター紀要 第四号 (2015)

武蔵野大学教職研究センター

THE BULLETIN OF MUSASHINO UNIVERSITY

Research Center for Teacher Education

No. 4 CONTENTS

Occupational Stress Response of Novices in Early Childhood Care and Education and Educational Support in University —Focusing on the Third Month after Employment—	YOSHINAGA Mutsuko	1
A Study of How to Teach Sanshin of Okinawa in the Course of Child Education —It's Significance and Possibilities—	TAKAHASHI Kazuyuki	13
A Study on “Foundations of the Whole” of Fröbel's <i>Human Education</i> and Eurhythmics of Jaques-Dalcroze	TAKAMAKI Eri	25
Art-Education as a Place of Self-Generated —Encounter with the Deepening and World Seeing—	NAMAI Ryoji	37
An Attempt to Improve the Physical Expression Class by Team Teaching —How to Effectively Inspire by Diversified Instructors—	KAWAKAMI Akiko / KATO Miku	47
A Study of Teaching Method at the Teacher Training Course in University —A Verification of “Lesson Study” at Arithmetic in Elementary School—	UEOKA Manabu	59
A Case Study of “Cooperative Learning” in a Japanese Class	SAITO Yukichi	71
Planning of Science Education Program Cooperated with Community	NIWANO Masakazu	83
Nurturing Problem-solving Skills in Science and Socio-environment Studies in Elementary School —Key Points and Results of Reforming Lessons—	KANO Masayuki	95
A Report of Student Educational Internship at High School	OMURO Fumiyuki	103
<hr style="width: 100%; border: none; border-top: 1px solid black; margin: 10px 0;"/> <div style="text-align: center;">◆◆◆ ◆◆◆</div> <hr style="width: 100%; border: none; border-top: 1px solid black; margin: 10px 0;"/>		
A Study of <i>The Poetry about Confucian Classics</i> by Zheng Daozhao —Unriddling the Unreadable Chinese Characters from the Aient Whole Page Rubbing—	HIROSE Hiroyuki	130

Research Center for Teacher Education, MUSASHINO UNIVERSITY

武蔵野大学教職研究センター紀要執筆要項

2013 年 10 月 10 日制定

1 内容

- (1) 教育及び教職研究に関する学術論文
- (2) 教育学部所属教員の専門に関する学術論文
- (3) その他、編集委員会が認めたもの

2 投稿資格

学術論文に投稿できる者は、以下の者とする。

- (1) 教職研究センター員及び客員研究員
- (2) 教育学部専任教員
- (3) (1) または (2) を含む共同研究の場合は、他所属の研究者の執筆も可
- (4) 教職研究センターから依頼したもの
- (5) 大学院生
- (6) その他、編集委員会が認めた者

3 倫理規定

執筆に際しては他人の著作権の侵害、名誉毀損、データの捏造、人権の侵害等の問題を生じないように十分に配慮しなければならない。倫理的な配慮が必要とされる学術論文等については、投稿者が所属する機関等の「倫理審査委員会」で承認を得たものに限り、学術論文等の中において、その旨を明記しなければならない。なお、万一掲載された執筆内容が他者の著作権を侵害したと認められた場合、投稿者がその一切の責任を負うものとする。

4 公開

印刷冊子、および、武蔵野大学のホームページ上等で電子データとして公開することがある。

5 投稿方法

- (1) 投稿を希望する者は、指定された期日までに所定の「武蔵野大学教職研究センター紀要投稿申込書」を提出しなければならない。
- (2) 原稿は、指定された期日までに所定の書式で作成した完成原稿（紙面に打ち出したもの）とそのデータを提出しなければならない。
- (3) 写真や図表は鮮明なものを使用し、完成原稿中にその位置を明示すること。

6 投稿規定

- (1) 原稿は未発表のものに限る。
- (2) 原稿は 1 人 1 編に限る。但し、共同研究に関しては、編集委員会で審議する。
- (3) 原稿は、横書き及び縦書き両方可とし、題目に英訳を併記すること。
- (4) 字数等

① 字数

16,000 字（注、図表、写真、その他、を含む）以内を原則とする。

*横書きの書式は、1 ページ 43 字×38 行とする。

*縦書きの書式は、1 ページ 30 字×25 行の 2 段組とする

*図表、写真は適宜文字数に換算する。

*図表、写真などが多いため他の原稿と比べて著しく費用がかかる場合、編集委員会は執筆者に負担を求めることが出来る。

②用語及び文体等

現代仮名遣いを原則とする。外国語を仮名書きにする場合は、カタカナとする。

③引用

引用や文献の参照については、細かく引用符や注を付け、剽窃を疑われないように細心の注意を払い、文献一覧のみではなく、引用・参照ページ等を特定できるようにしなければならない。引用書式については、個々の専門分野の学会誌などで使われているものに従う。

④見出し

*横書きの場合、見出しに章や節は使用せず、番号をつける場合は、アラビア数字（1、2、3等）かローマ数字（I、II、III等）を使用する。

*縦書きの場合、見出しに章や節は使用せず、番号をつける場合は、漢数字（一、二、三等）を使用することを原則とする。

⑤注

*横書きの場合、注番号は1, 2, 3等の上付きとする。

例：【正】●●●●¹。

*縦書きの場合、注番号は1, 2, 3等の数字をその該当部分（右横）にカッコをつけて記載する。

*注は必要最小限にとどめ、多くならないようにする。

(5) 校正

原稿は完成原稿を提出するものとし、校正段階では最小限の字句の訂正にとどめるものとする。校正は原則として執筆者が行い、校正済みの原稿は、編集委員会が指定した期日までに必ず返却しなければならない。

7 掲載の採否・順序等

(1) 掲載の採否は、編集委員会が決定する。

(2) 編集委員会は、原稿の書き直しを求めることが出来る。

(3) 掲載順序などの編集は編集委員会が行う。

(4) 査読規定については、別に定める

(5) 執筆者には、紀要5部、別刷20部を無償で配布する。共同研究の場合も各執筆者に別刷20部ずつを無償で配布することを原則とする。それ以上の部数を希望する場合は、必要部数をあらかじめ編集委員会に申し込まなければならない。その場合、超過部数に関わる費用は執筆者の負担とする。

8 口絵として研究作品写真を掲載することができる。

(1) 研究作品は、原則としてその年度内に制作（展覧会等での発表を含む）したものとする。

(2) 研究作品の題名・制作年などを記し、鮮明な画像（写真又はデータ）を提出するものとする。

(3) 掲載の採否及び順序は、編集委員会が決定する。

9 その他

その他の事項については、編集委員会で決定する。



武蔵野大学
MUSASHINO UNIVERSITY

武蔵野大学教職研究センター紀要 第4号

2016年3月1日発行

編集 武蔵野大学教職研究センター紀要編集委員会

発行 武蔵野大学教職研究センター

〒202-8585 東京都西東京市新町1-1-20

電話 042-468-3290

印刷 株式会社 多摩デザイン

〒184-0012 東京都小金井市中町2-19-31

電話 042-384-2491
